

2015年8月27日（木）

TPP勉強会・自主講座 第5弾

## 「TPPと地方自治」アンケート結果

### 今回の講座をどのようにしてお知りになりましたか？

チラシ：1人

知り合いから聞いて：4人

その他：4人

### 講座に参加して、分かったこと、気づいたこと、

もっと知りたいことなどがあればお聞かせください。

- WTOの歴史
- 航空宇宙産業の特色
- TPPだけではない。へっちゃらな社会（人々）の先行事例はどのくらいあるのか？
- 地方規模でどのような影響があるのか、具体的にお話が聞けたのが危険性を想像しやすかった。
- 誰に対して請願書を出すか、考えていきたいところですね。
- 請願→議会→企業・政府・自治体 へのプレッシャーをかける がわかりやすかった。
- 地方自治そのものが今後私たちの生命と暮らしを守る役割を果たすことができるのか、不安になってきました。
- 日米並行協議・TiSA のこと全くわからなかったもので、暗たんたる気持ちになったし、TPP が妥結されていなくともこの手、この手があってグローバル化の波は止められないのかと思ったけれど、その中でもやはり私たち自身に突きつけられていることは、自立ということなのかもしれない、つながるといふことなのかもしれない、コミュニティを強くしていくことなのではないかと。そのコミュニティの作り方を学び創っていくことが今必要なのではないかと感じました。
- 格差社会がこわい。ここはとめたい。政策に関わってくること。やはり、地方自治を取り戻すことが大切。新たな議員を立てていくことが大切なのではとも思います。豊明がそれを実践しているので、勉強会を開きたい。
- 現政権を見ていると国の権力をより強化する方向で動いているように見えるのに、一方で TPP や TiSA のような国の力を（企業と比べ）相対的に弱めるような政策を進めるのは何故なのかももう少し知ってみたいと感じました。
- 請願の持つ力についてはやはりまだじっくりいっておらず、更に考えてみたいです。

- TPP＝農業のイメージが強く、地方自治との関わりについてはまったく知りませんでした。貴重な機会ありがとうございました。
- 日本が永続的に敗戦国なのは、日本が民主主義国でないからですね。→民意の裏打ちがあればアメリカもあまり無体なことはできないです。→請願は、Public education, Organizing の焦点としての意味が大きいです。「継続」「各地」「多発」が大事ですね。
- 請願が企業相手にも出せるとは知りませんでした。経団連やトヨタを相手に出せるネタがないから。

**主催者の今後の取り組みに関して、ご要望、ご提案があればお聞かせください。**

- 請願の距離の縮め方は「給食」問題を考える保護者の事例は良いヒントかも。
- 請願の具体的な実体・実感の声（テクニカルな）。
- 請願の具体的なやり方・アイデアを勉強する機会があると良い。
- TPP 請願のたたき台や文案を作って頂けたら助かります。